

国民が選んだ賞「Yahoo!検索大賞2021」、第一弾としてアニメや映画など“カルチャーカテゴリー”4部門を発表！

アニメ部門賞は“東京リベンジャーズ”
映画部門賞は“シン・エヴァンゲリオン劇場版”
ゲーム部門賞は“ウマ娘 プリティーダービー”
ドラマ部門賞は“おかえりモネ”

～ 「Yahoo!検索」で「**検索大賞**」と検索すると、
各部門10位まで確認可能 ～

～ 2021年12月9日（木）に「Yahoo!検索大賞2021」第二弾
（大賞・パーソンカテゴリー）を発表！ ～

ヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）は本日、2021年に前年と比べ検索数が最も急上昇した人物や作品をランキング形式で発表する「Yahoo!検索大賞2021」の第一弾として“カルチャーカテゴリー”4部門を発表しました。

集計の結果、アニメ部門は“東京リベンジャーズ”、映画部門は“シン・エヴァンゲリオン劇場版”、ゲーム部門賞は“ウマ娘 プリティーダービー”、ドラマ部門賞は“おかえりモネ”がそれぞれ検索数急上昇第1位となりました。

なお、「Yahoo!検索」で「検索大賞」と検索すると、各部門のランキングを検索結果上部で10位まで確認できます。

国民が選んだ今年の顔！

Yahoo! 検索大賞2021

カルチャー 4部門 各1位

アニメ部門1位 東京リベンジャーズ	ゲーム部門1位 ウマ娘 プリティーダービー
映画部門1位 シン・エヴァンゲリオン劇場版	ドラマ部門1位 おかえりモネ

トップ10発表！ ヤフーで検索を

検索大賞 検索

12月9日(木) は、大賞・パーソン8部門 発表！

Yahoo! JAPANは、2014年に「Yahoo!検索大賞」を開始し、今年で8回目を迎えます。

「Yahoo!検索大賞」の選考基準は、国内最大級の検索サービス「Yahoo!検索」のデータにもとづいているため、ユーザーの興味・関心が反映されており、まさに“国民が選んだ賞”であるといえます。

今年は、本日発表した“カルチャーカテゴリー”4部門（アニメ・映画・ゲーム・ドラマ）にくわえ、12月9日（木）に“大賞”と“パーソンカテゴリー”8部門（俳優・女優・お笑い芸人・アスリート・モデル・ミュージシャン・アイドル・声優）を発表します。

「Yahoo!検索大賞2021」第一弾“カルチャーカテゴリー”について

<アニメ部門>

1位：東京リベンジャーズ

急上昇理由：「週刊少年マガジン」で連載中の漫画を原作としたアニメ作品。4月から9月まで放送され検索数が上昇しました。最終回放送以降も、各種配信サイトでの盛り上げを見せ、継続して検索されました。

2位：呪術廻戦

急上昇理由：「週刊少年ジャンプ」で連載中の漫画を原作としたアニメ作品。2020年10月の放送開始から徐々に検索数が上昇。今年に入っても放送日を中心にコンスタントに検索されました。

3位：鬼滅の刃

急上昇理由：10月よりアニメ「鬼滅の刃 無限列車編」の放送が始まり検索数が上昇しました。また12月からは続編となる「鬼滅の刃 遊郭編」の放送が予定されています。

<映画部門>

1位：シン・エヴァンゲリオン劇場版

急上昇理由：庵野秀明氏が原作・脚本・総監督を務めた「エヴァンゲリオン新劇場版」4部作の完結編。3月に公開され検索数が上昇。6月からは新バージョンが上映され、興行収入が2021年公開映画No.1（11月1日時点）の話題作となりました。

2位：るろうに剣心 最終章 The Final

急上昇理由：和月伸宏氏による漫画を原作とした佐藤健さん主演の実写映画。第4作となる「The Final」が4月に、第5作となる「The Beginning」が6月に公開され検索数が上昇しました。

3位：竜とそばかすの姫

急上昇理由：原作者・細田守氏が監督、脚本を務めたアニメ映画で、7月の公開をきっかけに検索数が上昇しました。また、第74回カンヌ国際映画祭でワールドプレミア上映され話題になりました。

<ゲーム部門>

1位：ウマ娘 プリティーダービー

急上昇理由：トウカイテイオー、ライスシャワーなど、往年の名馬をモチーフにした「ウマ娘」

を育成するシミュレーションゲーム。2月にスマートフォン向けゲームアプリが公開され検索数が上昇。約半年で累計1,000万ダウンロードを突破しました。

2位：モンスターハンターライズ

急上昇理由：ハンティングアクションゲーム「モンスターハンター」シリーズの最新作。3月にNintendo Switch用ゲームソフトが発売され検索数が上昇しました。

3位：ポケモンユナイト

急上昇理由：「ポケットモンスター」シリーズ初となる5対5のチーム戦略バトルゲーム。7月にNintendo Switch用ゲームソフトが配信され検索数が上昇しました。

<ドラマ部門>

1位：おかえりモネ

急上昇理由：5月よりNHK「連続テレビ小説」で放送され検索数が上昇しました。ヒロイン役は清原果耶さん。また坂口健太郎さんが演じる菅波光太郎に注目が集まり、SNSではハッシュタグ「#俺たちの菅波」を付けた投稿で盛り上がりました。

2位：ドラゴン桜

急上昇理由：4月よりTBS系「日曜劇場」で放送され検索数が上昇しました。主演は前作に続き阿部寛さん。南沙良さん、鈴鹿央士さんらの若手俳優も注目されました。また最終回では、新垣結衣さんら前作のメンバーが出演し話題になりました。

3位：青天を衝け

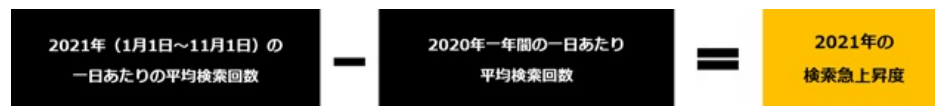
急上昇理由：2月よりNHK「大河ドラマ」で放送され検索数が上昇しました。渋沢栄一を演じた吉沢亮さんをはじめとした豪華な俳優陣が出演。また、北大路欣也さんによるオープニングのナレーション「こんばんは、徳川家康です」も話題になりました。

※「Yahoo!検索」で「検索大賞」と検索すると、各部門10位まで確認可能です。

<「Yahoo!検索大賞2021」概要>

■概要：2021年に、集計期間内の1日あたりの平均検索数が、昨年と比べ最も増加した人物・作品から選出をし、前年と比べ検索数が最も急上昇した人物や作品のランキング

★検索急上昇度の算出定義



■集計期間：2021年1月1日（金）～2021年11月1日（月）

■部門：

大賞			
"今年の顔" パーソンカテゴリーから大賞を選出			
パーソンカテゴリー			
俳優部門	女優部門	お笑い芸人部門	アスリート部門
モデル部門	ミュージシャン部門	アイドル部門	声優部門
カルチャーカテゴリー			
アニメ部門	ゲーム部門	映画部門	ドラマ部門

< 「Yahoo!検索大賞」について >

「Yahoo!検索大賞2021」は、2021年1月1日（金）～2021年11月1日（月）までの集計データをもとに、“今年の顔”として検索数が最も急上昇した人物に贈る“大賞”に加え、“パーソンカテゴリー（8部門賞）”“カルチャーカテゴリー（4部門賞）”において、人物・製品などをランキング形式で発表します。

Yahoo! JAPANは、「Yahoo!検索大賞」を通じ、日本中のみなさまとこの一年の出来事を振り返るとともに、年末の風物詩となっていくことを目指していきます。

ご参考：

< 「[Yahoo!検索大賞2020](#)」 >